

家事実施タイミング通知サービス検討

sse07-10 窪田 薫

背景・課題

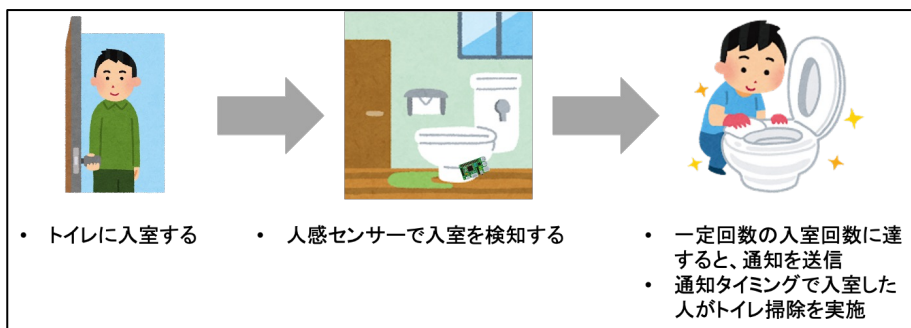
共働き世帯の増加により、夫の家事時間が増加傾向にある中、妻の夫に対する家事の期待は低く、約4割は夫に家事の不満を抱いている。また、女性は家事の分担割合、品質や実施タイミング等に対してストレスを感じている。

手法

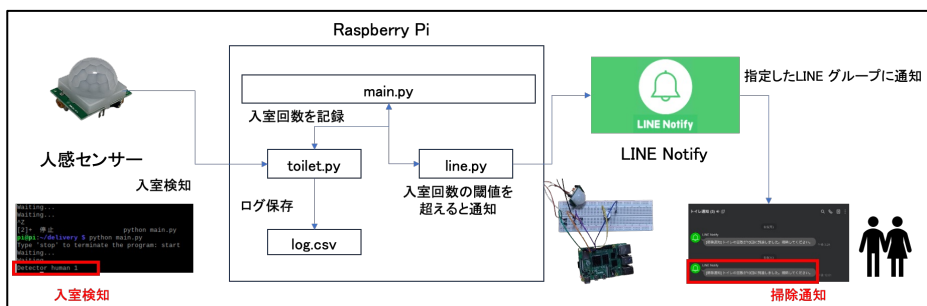
家事を実施タイミングは個人で認識が異なるため、システム的に決めることでストレス軽減に繋がると思料。今回は、アンケートで「できればやりたくない家事」の一位であった「トイレ掃除」の通知システムを研究対象とする。

システム概要

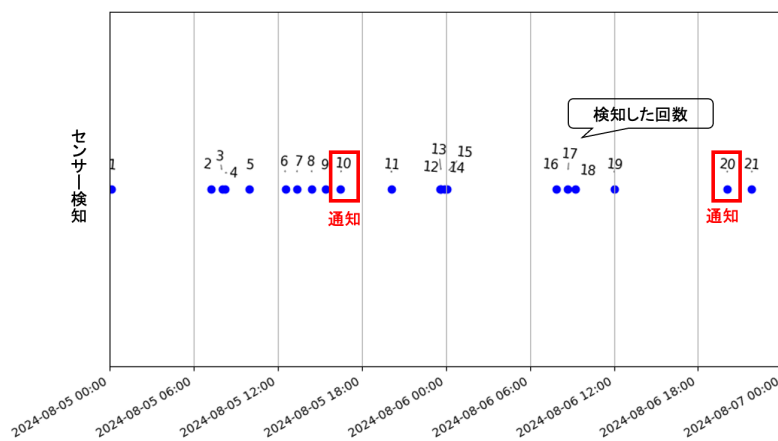
全体像



システム構成図



システムの評価・改善点



良い点

- ・トイレに一定回数入室すると通知が来るため、掃除するタイミングが分かる
- ・今まで家庭内の誰かがトイレ掃除を行うまで放置していたが、自動的に決まるのでトイレを綺麗に保つことができる

改善点

- ・トイレに設置されているため、トイレを監視されている感じがする
- ・通知が来てもトイレ掃除を行う時間がない
- ・在宅勤務でトイレをよく利用するため、通知を受け取る確率が高い

ユーザの声

今後の展望

家事に関する課題

- 家庭内で家事分担量の差異が生じている
- 個人ごとに家事品質の認識にズレがある
- 個人ごとに家事を実施タイミングにズレがある

解決策

- 家事分担量の不公平感について家庭内で議論する
- 見えない家事を可視化する
- 家事の実施量を可視化する
- 家事の品質が一定以上か判別する
- 家事を実施するタイミングを通知する

本研究の対象

- ・民間のアンケート調査結果を用いて家事ストレスの課題と解決策を推察したが、独自のアンケート調査やユーザーインタビューを通して市場調査を行いたい
- ・今回実施した「家事を実施するタイミングを通知する」以外にも解決策があると思料しており、他解決策のプロダクトも検討したい